

資料1

災害対策標準化推進ワーキンググループ 今後の進め方

災害対応業務の標準化に向けた3つの検討課題と対応方針

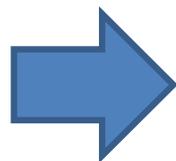
- 全ての前提となる課題①に優先的に着手し、災害情報ハブ推進チームにて検討中
- 課題①の取組も踏まえ、課題②について、ターゲットを絞って関係者間と検討を進めてはどうか
- 特に資源管理のうち、物資調達・輸送は国、地方公共団体、民間企業それぞれの連携が必要になることから、物資調達・輸送にターゲットを絞って検討してはどうか
- 課題③については①②の取組を踏まえ、並行して研修制度や訓練に盛り込んで対応してはどうか

①迅速的確な状況認識の統一 ~情報処理・情報共有のあり方の標準化~



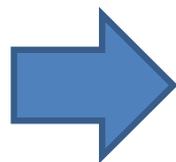
国と地方・民間の『災害情報ハブ』推進チームにおいて検討

②効果的な災害対応オペレーション ~防災基本計画に基づく災害対策の質の向上~



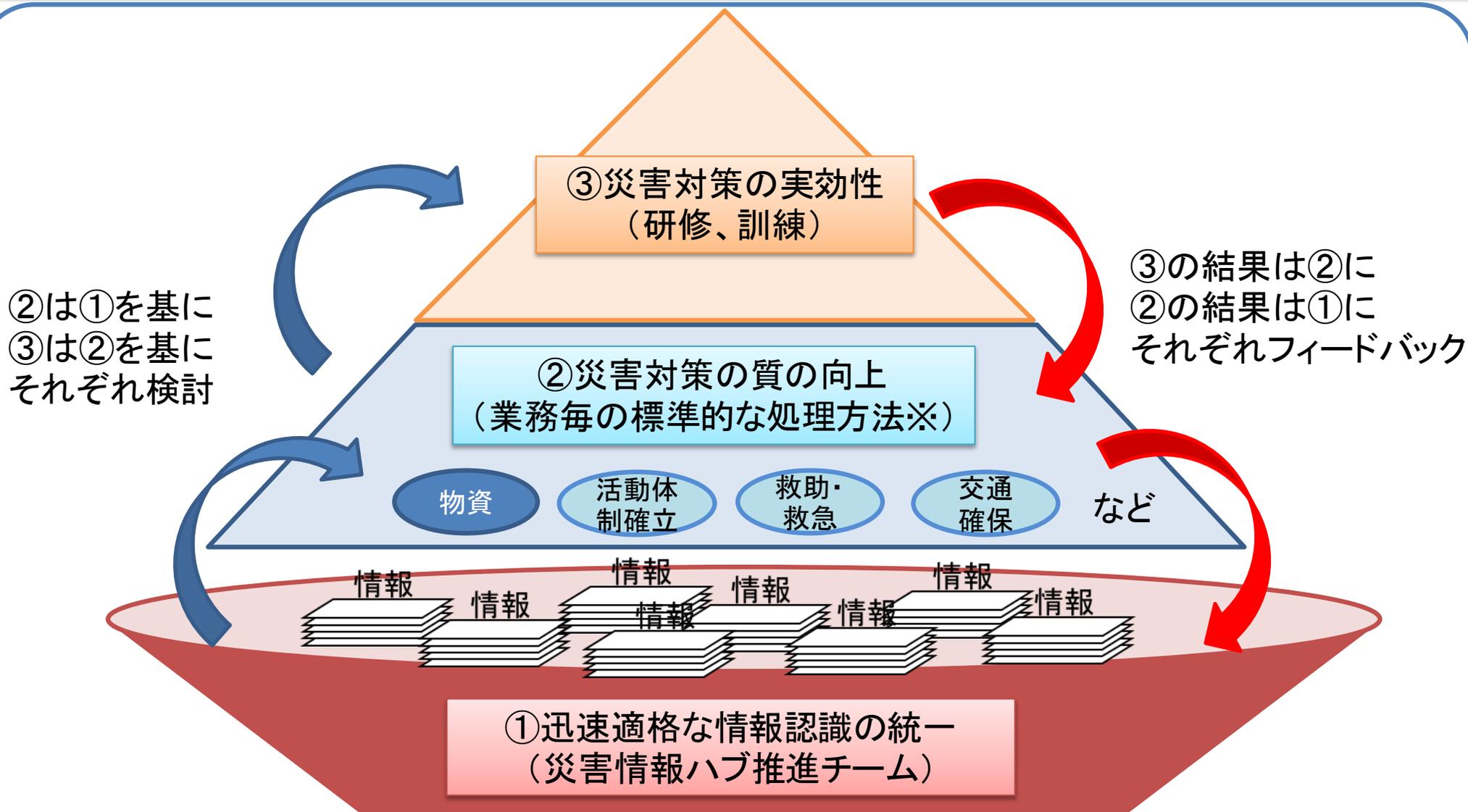
災害対応業務の標準的な処理方法の検討

③連携した災害対応マネジメント ~実効性向上のための研修・訓練プログラムの充実~



①②の議論を踏まえた既存の研修、訓練への反映

災害対応業務の標準化に向けた進め方のイメージ

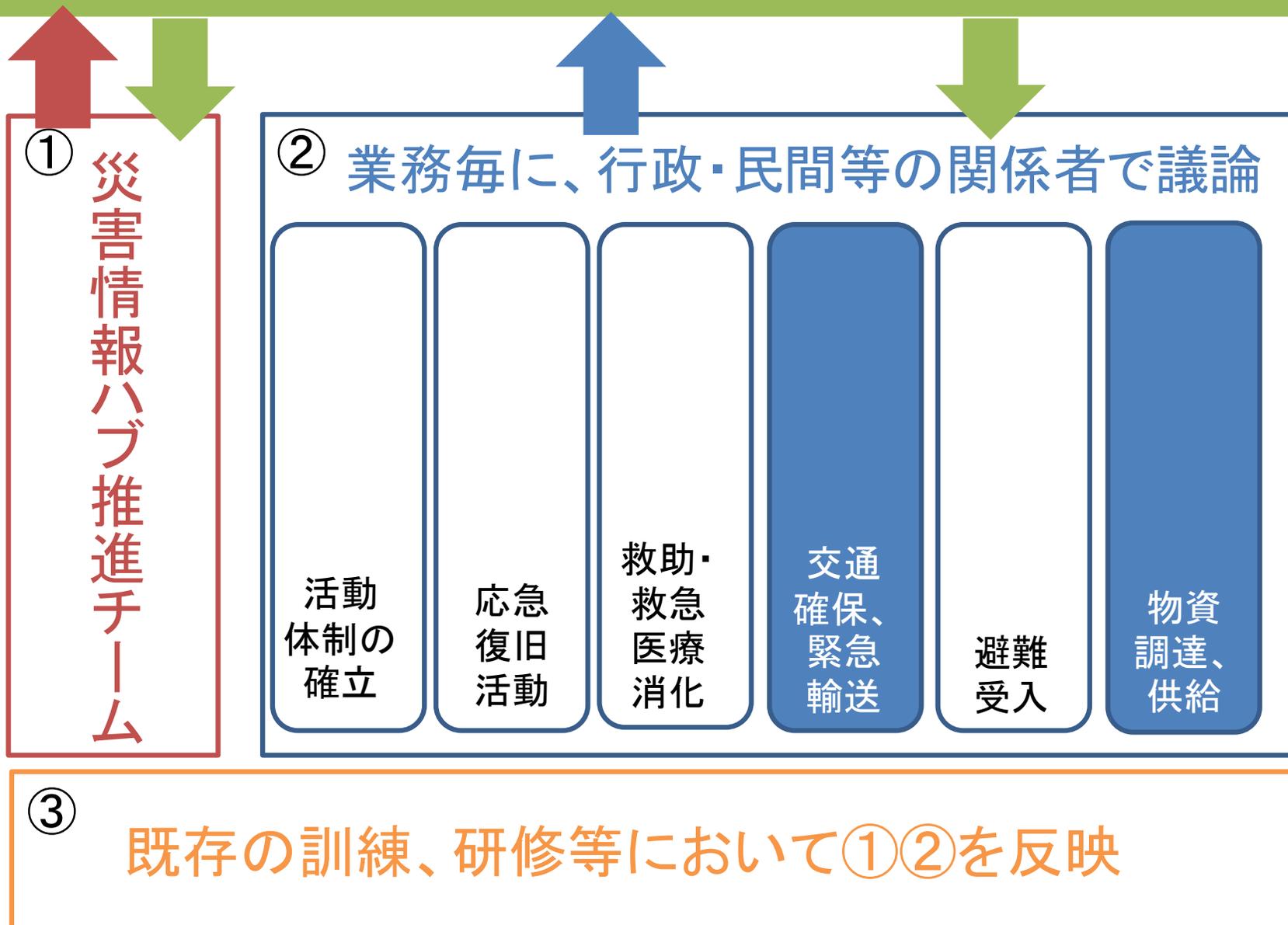


※標準的な処理方法は業務毎に整理してはどうか

○物資調達・輸送 ○活動体制の確立 ○応急復旧活動 ○救助・救急、医療、消火 ○交通確保 ○避難受入

各個別の検討と災害対応標準化WGとの関係

災害対応業務標準化推進ワーキンググループ



災害対応業務の標準化に向けたターゲットの考え方

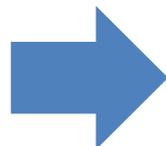
○ ターゲットは、災害情報ハブ推進チームの状況も踏まえつつ、以下のような視点で検討してはどうか。

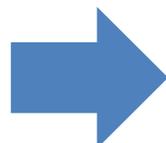
1. 防災基本計画に記載された業務であるか

- 防災基本計画は国、地方公共団体、民間等のあらゆる関係者の基本的な役割を規定
- 必要に応じて、防災基本計画や関連計画等に反映することで関係者とも共有可能

2. 国、都道府県、市町村、民間が関与する業務であるか

- 全ての主体が関与する業務は、国における標準化に向けた議論になじむ
- 関連した自治体だけの業務にも応用可能

 まずは、物資調達・供給及び緊急輸送に着目してはどうか

 一方、あらかじめターゲットとした業務以外の業務も、関係者による検討が行われているものについて、必要に応じて事例紹介等を交えながら進めてはどうか